

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491101	事務事業名	自立支援医療事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の身体障害者・身体障害児		意図(どういう状態にしたい): 身体障害者が日常生活、社会生活などを営むうえで必要な能力を得る。 児童が生活の能力を得て、健全に育成されることを図る。 (給付件数 H26見込み:6,570件)		事業の内容 (手段)	●18歳以上の身体障害者の、身体の機能障害を軽減または改善するための医療費を助成(更生医療) ●身体に障害のある児童に対し、障害の改善が見込まれる医療費を助成(育成医療)

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	《更生医療》年間給付件数 6,404件 給付費147,732千円						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	《育成医療》年間給付件数 158件 給付費2,584千円							直接事業費	千円	157,727	172,097	170,391	-	-
【26年度】								(予算額) うち一財	千円	39,735	43,334	42,838	-	-
事業目標	目標名	給付件数	計算式	年間給付件数	単位	件	事業費	直接事業費	千円	158,301	150,723		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	39,459	37,987		療養介護医療給付費と統合	
	目標値	4,600.0	5,350.0	6,570.0	6,570.0	6,570.0		正職員人件費	千円	6,886	5,029			
	実績値	5,846.0	6,397.0	6,562.0				人工数	人	0.94	0.68	0.94		
	達成度(%)	127.1%	119.6%	99.9%				支出コスト	千円	決) 165,187	決見) 155,752			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	更生医療 (経常的事務事業)	身体障害者	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	正職員	0.48	直接事業費	148,139	委託	否	臨時嘱託	可
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 年々対象者が増加しており、コストは、上昇していくと思われるが、引き続き、障害の軽減・進行予防のために継続していく必要がある。また、生活保護世帯で更生医療が必要な方についての費用を自立支援(更生)医療費で対応しており、生活保護受給者の増加に伴い、今後も増額となることが予想される。 定型的な事務の効率化。						細事業評価						
	②	育成医療 (経常的事務事業)	身体障害児	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	臨時等			2,584		否	可	
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 平成25年度から県より権限移譲された。年間給付件数は県の過去2年の実績からみるとほぼ横ばいである。事業費については、申請される医療の内容によって、医療コストの増減が見込まれる。 定型的な事務の効率化。						細事業評価						
						B	改善案	定型的な事務についての臨時職員の活用。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	身体については、昭和29年から更生医療として実施し、平成18年障害者自立支援法制定後、自立支援医療(更生医療)として実施。平成22年4月から対象範囲が、肝臓機能障害(肝臓移植、移植後の抗免疫療法)にも拡大された。精神については、平成18年障害者自立支援法制定後、自立支援医療(精神通院)として実施。平成25年4月から育成医療が県	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	生活保護世帯で更生医療が必要な方についての費用を自立支援(更生)医療費で対応しており、生活保護受給者の増加に伴い、今後も増額となることが予想される。	事業全体の課題・問題点	細事業に同じ。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	障害者(児)の心身の障害を除去、軽減するための医療費の助成であり法定の事業である。定型的な事務の効率化。	改善案	定型的な事務についての臨時職員の活用。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
2事業(自立支援医療事業費、療養介護医療給付費)を統合し、事務事業名を「自立支援医療・療養介護医療給付費事業」とした。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491102	事務事業名	障害者自立支援審査会事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者で障害福祉サービスの利用申請をする者	意図(どういう状態にしたい): 障害福祉サービスを利用する際に必要な障害程度区分を行う。 (審査件数 H26見込み:330件)	事業の内容 (手段)		●利用申請者の認定調査資料を基に審査、判定を行う審査会を開催	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	審査件数227件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	2,705	2,946	2,977	2,417
							(予算額) うち一財	千円	1,353	736	745	605	745	
事業目標	目標名	審査件数	計算式	年間審査件数	単位	件	直接事業費	千円	1,858	2,261		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	465	618		審査件数の減による減額		
	目標値	390.0	240.0	330.0	330.0	330.0	正職員人件費	千円	9,010	11,832				
	実績値	281.0	142.0	227.0			人工数	人	1.23	1.60	1.35			
	達成度(%)	72.1%	59.2%	68.8%			支出コスト	千円	決) 10,868	決見) 14,093				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 認定区分審査 (経常的事務事業)		上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時			
							0.85	0.05	2,261	否	否			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 目標値に対し達成率がやや低い				A	改善案						
	② 区分認定調査 (経常的事務事業)		上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	区分認定にあたり、保健師を調査員として利用者の面接調査を実施	0.75		-	可	可			
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 定型的な事務については効率化を図れる余地がある。				B	改善案	定型的な事務について臨時職員の活用。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	障害者自立支援法の施行と同時に制度として確立されたもの。認定者数については認定期間が3年で更新という特性上、3年ごとの波があるが、障害福祉サービスの利用者が年々増加しており、比例して審査件数が増加している。	前年度までの指摘事項	障害福祉サービスの支給決定に不可欠の区分認定事務である	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	上記細事業に同じ		事業全体の課題・問題点	上記細事業に同じ	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	障害福祉サービスの支給決定に不可欠の区分認定事務である。定型的な事務については効率化を図れる余地がある。	改善案	定型的な事務について臨時職員の活用。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491111	事務事業名	高額障害福祉サービス費支給事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者世帯	意図(どういう状態にしたい): 世帯の負担を軽減 (支給件数 H26見込み:26件)	事業の内容 (手段)		●同一世帯において1ヶ月に支払った利用者負担額が一定の額を超えた場合に支給	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	利用実人数 5名 支給額 32,139円						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	132	113	107	-
							(予算額) うち一財	千円	33	29	27	-	-	
事業目標	目標名	支給件数	計算式	年間支給件数	単位	件	直接事業費	千円	21	32		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	6	8		介護給付・訓練等給付事業費他3事業と統合		
	目標値	2.0	26.0	26.0	20.0	20.0	正職員人件費	千円	1,099	370				
	実績値	16.0	22.0	18.0			人工数	人	0.15	0.05	0.30			
	達成度(%)	800.0%	84.6%	69.2%			支出コスト	千円	決) 1,120	決見) 402				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 高額障害福祉サービス費支給事業費 (経常的事務事業)		上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.05		32	否	否			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 補装具費が対象となるなど、法改正により事業費が増加。 障害福祉サービス、障害児通所、補装具と多事業の上限を管理するのだが、システム対応していない。				B	改善案	新システム導入の中で検討。					
②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	同一世帯における障害者総合支援法に基づく介護給付費等にかかる利用者負担額と介護保険の利用者負担額を合算し、負担上限月額まで軽減を図る。 平成24年度から合算の対象となる費用が、補装具費に係る利用者負担額、障害児通所給付費、障害児入所給付費に拡大された。	前年度までの指摘事項	介護保険利用者との関係も整理されたい。	指摘事項に対する改善状況	新システム導入の中で検討する。
	細事業の課題・問題点	障害福祉サービス、障害児通所、補装具と多事業の上限を管理するのだが、システム対応していない。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	法の規定より利用者負担額が一定額を超えた場合に支給する事業である。 障害福祉サービス、障害児通所、補装具と多事業の上限を管理するのだが、システム対応していない。	改善案	新システム導入の中で検討する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
4事業(介護給付・訓練等給付事業費、高額障害福祉サービス費支給事業費、補装具給付事業費及び障害福祉サービス措置費)を統合し、事務事業名を「障害者自立支援給付事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491114	事務事業名	介護給付・訓練等給付事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者	意図(どういう状態にしたい): 個々に対応した通所支援、居宅支援、入所支援により、自立した日常生活・社会生活を営むことができる。 (給付件数 H26見込み:14,230件)	事業の内容 (手段)	●障害程度区分、介護を行う者の状況、利用に関する意向等を総合的に勘案し、介護給付費、訓練等給付費を支給		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	訪問系サービス 1,282件 120,717,003円 訪問系サービス以外 11,547件 1,763,345,886円 計画相談支援 793件 12,159,853円						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	1,876,452	1,923,768	1,933,024	-		-						
事業目標	目標名	給付件数	計算式	年間給付件数	単位	件	(予算額) うち一財	千円	471,194	483,211	485,524	-	-	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,851,237	1,898,242		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	13,000.0	13,500.0	14,230.0	14,230.0	14,230.0	(決算額) うち一財	千円	464,445	495,974		補装具給付事業費他3事業と統合		
	実績値	12,536.0	13,190.0	13,622.0			正職員人件費	千円	9,596	6,434				
	達成度(%)	96.4%	97.7%	95.7%			人工数	人	1.31	0.87	1.20			
							支出コスト	千円	決) 1,860,833	決見) 1,904,676				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 介護給付・訓練等給付 (経常的事務事業)		上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.87		1,898,242	否	否			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 サービス利用希望者やサービス提供事業所の増加に伴い、事業費が伸びてくる。業務量が多いので、常に定型的な事務の効率化を意識しておく必要がある。				B	改善案	定型的な事務の効率化、臨時職員の活用。					
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	支給決定者は増加傾向にあり、事業費も増加。	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況	
		細事業の課題・問題点	細事業の課題に同じ	事業全体の課題・問題点		支給決定についての説明責任を問われる場面が増えてきた。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	法定サービスであり、サービスを必要とする障害者へ適正な給付は必要。 業務量が多いので、常に定型的な事務の効率化を意識しておく必要がある。	改善案	定型的な事務の効率化、臨時職員の活用。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
4事業(介護給付・訓練等給付事業費、高額障害福祉サービス費支給事業費、補装具給付事業費及び障害福祉サービス措置費)を統合し、事務事業名を「障害者自立支援給付事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491115	事務事業名	日常生活用具給付事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の身体・知的・精神障害者(児)・難病患者等	意図(どういう状態にしたい): 重度障害者の日常生活上の困難を改善する。 (給付件数 H26見込み:1,770件)	事業の内容 (手段)	●障害の種類、部位に応じて、作製・改良・開発にあたり障害に関する専門的な知識や技術を要し、日常生活品として一般的に普及していない用具を給付		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	年間給付件数:1,783件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	31,121	33,869	33,740	-
事業目標	目標名	給付件数	計算式	年間給付件数	単位	件	(予算額)	うち一財	千円	7,808	8,497	8,435	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	32,104	36,192		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	1,600.0	1,560.0	1,770.0	1,770.0	1,770.0	(決算額)	うち一財	千円	8,425	9,078		小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業費と統合	
	実績値	1,573.0	1,647.0	1,783.0			正職員人件費	千円	4,102	3,624				
	達成度(%)	98.3%	105.6%	100.7%			人工数	人	0.56	0.49	0.45			
							支出コスト	千円	決) 36,206	決見) 39,816				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		日常生活用具給付事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.49	0.05	36,192	否	可			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 地域生活支援事業の必須事業。申請があったものに対して給付決定を行うため、給付件数や事業費は年度によって変動する。 給付件数の多い事業であり、常に事務の効率化を図る必要がある。				B	改善案	定型事務の効率化、臨時職員の活用。					
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	従前から行われている事業であったが平成18年10月より地域生活支援事業へ移行した。ストマ・紙おむつ等が補装具から移行。また、平成22年度よりストマ・紙おむつ等を除くものについては低所得世帯について自己負担額が0となった。	前年度までの指摘事項	地域生活支援事業の市町村必須事業である。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	細事業に同じ。		事業全体の課題・問題点	細事業に同じ。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	障害者の日常生活を容易にするための、地域生活支援事業の市町村必須事業である。給付件数の多い事業であり、常に事務の効率化を図る必要がある。	改善案	定型事務の効率化、臨時職員の活用。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
事務事業名は「日常生活用具給付事業費」のままだが、小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業費と統合した。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491116	事務事業名	知的障害者相談支援事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の知的障害者及びその家族		意図(どういう状態にしたい): 在宅福祉サービスの利用援助や、社会資源の活用が図られる。 (相談件数 H26見込み:1,600件)		事業の内容 (手段)	●在宅の知的障害者及びその家族に対して、周南3市共同の相談支援事業として、鼓ヶ浦整肢学園及び松星苑に相談支援事業を委託

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】	相談件数		計算式	年間相談件数		単位	件	事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
		相談件数(1,260件)	委託料額(4,536千円)									直接事業費	千円	4,300	4,537	5,681	-
事業目標	目標名	相談件数		計算式	年間相談件数		単位	件		(予算額) うち一財	千円	4,300	4,537	3,722	-	-	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度				直接事業費	千円	4,300	4,536		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	1,600.0	1,600.0	1,600.0	1,600.0	1,600.0				(決算額) うち一財	千円	4,300	4,536		身体障害者相談支援事業他5事業と統合		
	実績値	1,668.0	1,334.0	1,260.0						正職員人件費	千円	366	444				
	達成度(%)	104.3%	83.4%	78.8%						人工数	人	0.05	0.06	0.27			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト		委託等の可否	
	①	知的障害者相談支援事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ		上記事務事業に同じ		上記事務事業に同じ		上記事務事業に同じ			正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
												0.06	0.05	4,536	可	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 平成24年度から指定特定相談支援事業所による計画相談支援事業が導入されており、当事業との整合性や考え方の整理に伴う委託料、委託先の査定再考が必要となっている。 委託事業所と市障害者支援課との連携や役割分担を考える必要がある。							B	改善案	平成27年度から知的障害者相談支援事業、身体障害者相談支援事業、精神障害者地域生活支援センター設置事業の内精神障害者相談支援に係る部分の事業を統合し、障害者総合相談支援事業とする見直しを行った。						
②																	
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他								改善案	細事業評価							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	H18年度の自立支援法施行に伴い創設された事業。障害福祉に関する制度の複雑化、障害者のニーズの多様化によって相談内容も複雑化し、より専門的な相談支援が求められている。平成24年度より計画相談支援事業が導入されており、サービス利用計画の作成に伴う相談事業も実施されている。		
	細事業の課題・問題点	上記細事業①に同じ	上記細事業①に同じ
		事業全体の課題・問題点	

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由 周南3市で委託している事業で、障害福祉サービスの支給に欠かせない事業である。 委託相談支援事業所と市障害者支援課との連携・役割分担を考える必要がある。	改善案 平成27年度から知的障害者相談支援事業、身体障害者相談支援事業、精神障害者地域生活支援センター設置事業の内精神障害者相談支援に係る部分の事業を統合し、障害者総合相談支援事業とする見直しを行った。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
事務事業名を「障害者相談支援事業費」とし、知的障害者相談支援事業費、身体障害者相談支援事業費、精神障害者地域生活支援センター設置事業費の内相談支援に係る事業費、身体障害者相談員設置事業費、知的障害者相談員設置事業費及び障害者社会参加等促進支援事業費の内ピアサポート委託料の部分を統合。また、27年度より相談支援の委託先(大和福祉会)を1カ所増やし、基幹相談支援センター(鼓ヶ浦整肢学園に委託)を設置した。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491117	事務事業名	成年後見制度利用支援事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者	意図(どういう状態にしたい): 社会生活を送るうえで、個人で判断したり、行動することが困難な障害者の権利を保護する。 (市長申し立て件数 H26見込み:2件)	事業の内容 (手段)	●成年後見制度の申し立てを行う親族等がない場合に、代わりに市長が申し立てを行う制度		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	障害者の権利擁護・成年後見に関する窓口相談は、毎年数件程度寄せられている。 平成26年度:市長申し立て案件 1件													
事業目標	目標名	市長申し立て件数	計算式	年間市長申し立て件数	単位	件	事業費	直接事業費	千円	558	558	559	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(予算額) うち一財	千円	140	140	140	-	-
	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		直接事業費	千円	0	11		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値	0.0	0.0	1.0				(決算額) うち一財	千円	0	3		成年後見制度利用支援事業費と統合	
	達成度(%)	0.0%	0.0%	50.0%				正職員人件費	千円	513	148			
						人工数	人	0.07	0.02	0.06				
						支出コスト	千円	決) 513	決見) 159					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	成年後見制度利用支援事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	直接事業費	委託	臨時嘱託				
							0.02	11	否	否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 制度の周知、担い手の確保が必要である。					細事業評価	B	改善案	広報し、また法人後見を進める。				
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価		改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成24年度から、地域生活支援事業における「成年後見制度利用支援事業」が必須事業化(それまでは市町村の任意事業)された。障害者の権利擁護に係る取り組みについては一層重要と位置付けられてきている。	前年度までの指摘事項	制度の周知を図りたい。	指摘事項に対する改善状況	パンフレットを配置。
	細事業の課題・問題点	成年後見制度利用支援事業の対象は、市長申立てに係る費用及び、本人が成年後見報酬を支払えない場合の後見報酬であるが、後見報酬の取扱いについて、高齢者の取扱いを踏まえた協議が必要である。(現在まで実績はない。)	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	件数の多寡に関係なく行政の必須制度であるが、今後は制度の周知が必要。	改善案	広報し、また法人後見を進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
2事業(成年後見制度利用支援事業費と障害者虐待防止事業費)を統合し、事務事業名を「障害者権利擁護事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者(課長)	山本恭弘	評価責任者(部長)	大西輝政
事務事業コード	491118	事務事業名	精神障害者地域生活支援センター設置事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の精神障害者及びその家族	意図(どういう状態にしたい): 在宅の精神障害者に対し、在宅福祉サービスの利用援助や、社会資源の活用が図られる。 (相談件数 H26見込み:8,100件)	事業の内容(手段)	●雇用・就労が困難な在宅の障害者に対し、周南3市共同の事業として相談支援事業、機能訓練、社会適応訓練、入浴等のサービスを愛命会(泉原病院・ウイング)に委託	【障害者福祉の充実】 36.90%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		項目				単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
【26年度】	精神障害者地域生活支援センター設置数	26年度1箇所(25年度1箇所)												
	相談支援実施件数	26年度5,809件(25年度7,063件)												
事業目標	目標名	相談件数	計算式	年間相談件数	単位	件								
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度								
	目標値	8,100.0	8,100.0	8,100.0	8,100.0	8,100.0								
	実績値	7,625.0	7,063.0	5,809.0										
	達成度(%)	94.1%	87.2%	71.7%										
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名	事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度			人工数	コスト	委託等の可否		
	①	精神障害者地域生活支援センター設置事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ			0.10	0.05	10,193	可	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 平成24年度から指定特定相談支援事業所による計画相談支援事業が導入されており、当事業との整合性や考え方の整理に伴う委託料、委託先の査定再考が必要となっている。						B	改善案	平成27年度から知的障害者相談支援事業、身体障害者相談支援事業、精神障害者地域生活支援センター設置事業の内精神障害者相談支援に係る部分の事業を統合し、障害者総合相談支援事業とする見直しを行う。併せて地域活動支援センター事業部分の委託料見直しを行った。				
	②													
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他							改善案	細事業評価				

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
							正職員	臨時等	直接事業費		委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	H18年度の自立支援法施行に伴い創設された事業。障害福祉に関する制度の複雑化、障害者のニーズの多様化によって相談内容も複雑化し、より専門的な相談支援が求められている。平成24年度より計画相談支援事業が導入されており、サービス利用計画の作成に伴う相談事業も実施されている。	前年度までの指摘事項	障害福祉サービスの支給に欠かせない事業である。	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	上記細事業①に同じ		事業全体の課題・問題点	上記細事業①に同じ

所管課評価					
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	周南3市で委託している事業で、障害福祉サービスの支給に欠かせない事業である。	改善案 平成27年度から知的障害者相談支援事業、身体障害者相談支援事業、精神障害者地域生活支援センター設置事業の内精神障害者相談支援に係る部分の事業を統合し、障害者総合相談支援事業とする見直しを行う。併せて地域活動支援センター事業部分の委託料見直しを行った。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
精神障害者地域生活支援センター設置事業費の内相談支援に係る事業費は「障害者相談支援事業費」と統合し、通所支援に係る事業費は「通所支援事業費」に統合した。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491119	事務事業名	移動支援事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の屋外での移動が困難な障害者	意図(どういう状態にしたい): 移動を支援し、円滑に外出ができる。 (利用時間 H26見込み:836.8H*1.04=870時間)	事業の内容 (手段)	●屋外での移動が困難な障害者及び障害児の外出時に介護者を派遣		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	実施事業所数15、利用実人数20人、延べ利用時間1026.5時間						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	2,723	2,837	2,830	-		-						
事業目標	目標名	利用時間	計算式	年間利用時間	単位	時間	(予算額) うち一財	千円	682	709	708	-	-	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	2,422	2,816		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	800.0	924.0	870.0	1,000.0	1,000.0	(決算額) うち一財	千円	606	705		福祉タクシー助成事業費他4事業と統合		
	実績値	812.0	856.5	1,026.5			正職員人件費	千円	513	1,479				
	達成度(%)	101.5%	92.7%	118.0%			人工数	人	0.07	0.20	0.25			
							支出コスト	千円	決) 2,935	決見) 4,295				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 移動支援事業費 (経常的事務事業)		上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	否	
	②													
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 障害者の社会参加のために必要なサービスであることから、利用者の要望も多い。申請時に十分に聴き取りを行い、必要なサービス量を決定することが求められる。 視覚障害者のグループ支援に対応する事業所が少ない。(13事業所中5事業所が対応可)				A	改善案						
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	支援費制度から、障害者自立支援法の地域生活支援事業に移行の事業となった。H23年度10月から視覚障害者は法定サービスの同行援護に移行。視覚障害者に対する移動支援事業での対応はグループ支援のみとなった。	前年度までの指摘事項	障害者総合支援法の必須事業である。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	障害者の社会参加のために必要なサービスであることから、利用者の要望も多い。申請時に十分に聴き取りを行い、必要なサービス量を決定することが求められる。視覚障害者のグループ支援に対応する事業所が少ない。(13事業所中5事業所が対応可)	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	障害者総合支援法の必須事業であり、適正な利用を図りながら事業の継続が必要である。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
6事業(移動支援事業費、身体障害者訪問入浴サービス事業費、障害者コミュニティ活動支援事業費、福祉タクシー助成事業費、身体障害者運転免許取得助成事業費及び身体障害者用自動車改造助成事業費)を統合し、事務事業名を「居宅生活支援事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491120	事務事業名	デイサービス事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者	意図(どういう状態にしたい): 障害者同士の交流やレクリエーション等により障害者の社会参加を促進し、障害者の生活を充実させることができる。 (延利用者数 H26見込み:3,240人)	事業の内容 (手段)	●地域において雇用・就労が困難な在宅障害者に対し、機能訓練・社会適応訓練・入浴等のサービスを提供 ・委託先 ア 新南陽福祉の会 イ 徳山ボレボレくらぶ		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	ア 新南陽福祉の会 年度末利用者 19人・延利用者数 1,699人 イ 徳山ボレボレくらぶ 年度末利用者 9人・延利用者数 819人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	32,799	33,307	32,887	-		-						
事業目標	目標名	利用者数	計算式	延利用者数	単位	人	(予算額) うち一財	千円	26,083	30,699	26,487	-	-	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	32,799	33,415		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	3,800.0	3,240.0	3,240.0	3,240.0	3,240.0	(決算額) うち一財	千円	25,847	27,060		障害者福祉作業所運営事業費他1事業と統合		
	実績値	3,027.0	2,695.0	2,518.0			正職員人件費	千円	513	518				
	達成度(%)	79.7%	83.2%	77.7%			人工数	人	0.07	0.07	0.10			
							支出コスト	千円	決) 33,312	決見) 33,933				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	デイサービス事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.07	0.06	33,415	可	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 利用希望は増えているが、1棟の建物内に福祉作業所が併設されていることから、デイサービスの用に供する十分なスペースがない。					B	改善案	事業実施場所の検討。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成18年度から障害者自立支援法における地域生活支援事業に移行。平成23年度の事業見直しにより、デイ・ケア事業の成人利用者を統合するとともに、新たに1か所の事業委託を行った。	前年度までの指摘事項	日中の居場所として欠かせない事業。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	法定事業を補完する事業として、23年度から委託事業所(イ)を1か所増やし、年ごとのニーズを鑑みながら利用定員を定め、事業委託を行っている。障害者の日中活動支援は、できるだけ法定サービスを利用することが望ましいが、障害特性等により利用が困難な障害者の社会参加の場として、適当な定員規模は必要である。指定管理事業所(ア)については、事業スペースが狭いため、地域活動支援センターⅡ型の要件である、概15人/日以上の利用者の利用が困難であり、補助対象事業としては不利な位置づけになっている。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	居宅の障害者の日中居場所の確保として欠かせない事業。事業を充実させるためにも、実施場所を検討する必要がある。	改善案	ニーズに合わせて事業の実施場所、提供体制を確保する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
精神障害者地域生活支援センター設置事業費の内、通所支援に係る事業費と障害者福祉作業所運営事業費及びデイサービス事業費を統合し、事務事業名を「通所支援事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491121	事務事業名	日帰りショートステイ事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害児(者)	意図(どういう状態にしたい): 障害者等の家族の就労支援及び一時的な休息を図る。 (利用回数 H26見込み:3,500回)	事業の内容 (手段)		●知的障害者及び障害児を見守る者が一時的にいないときに、日中活動の場を確保	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	実施事業所数15、利用実人数97人、延利用回数4793回						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	7,800	8,957	8,230	-
事業目標	目標名	利用回数	計算式	年間利用回数	単位	回	(予算額)	うち一財	千円	1,950	2,239	8,230	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	7,952	8,957		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	3,500.0	3,500.0	3,500.0	3,500.0	3,500.0	(決算額)	うち一財	千円	5,878	4,833	障害児通所事業費他2事業と統合		
	実績値	3,491.0	4,149.0	4,793.0			正職員人件費	千円	1,685	1,701				
	達成度(%)	99.7%	118.5%	136.9%			人工数	人	0.23	0.23	0.25			
							支出コスト	千円	決) 9,637	決見) 10,658				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		日帰りショートステイ事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.23	0.10	8,957	可	可			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 請求内容のチェックに時間を取られる。				B	改善案	請求する事業所がセルフチェックする方法を考える。					
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
細事業の課題・問題点	<p>支援費制度から、障害者自立支援法の地域生活支援事業への移行の事業となった。24年度に委託事業者が増えたことや、放課後等デイサービス事業所の新規開所などにより、供給体制の不足感は若干解消された。</p> <p>障害児・者の在宅生活を支援する事業として、保護者のニーズが非常に高い事業であるが、事業者は本来事業の余裕部分での対応となるため、時期によっては対応が困難なことがある。また、請求内容のチェックに時間を取られるため、改善の余地がある。</p>	事業全体の課題・問題点	同左

所管課評価			
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由 24年度の障害福祉サービス報酬改正により創設された、「延長支援加算」と、これまでの日帰りショートステイ事業の運用方法に矛盾が生じたが、周南3市で調整し事業所の理解を得て、平成25年度からは改正して実施。 また、請求内容のチェックに時間を取られるため、改善の余地がある。
			改善案 請求する事業所がセルフチェックする方法を考える。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
4事業(日帰りショートステイ事業費、障害児通所事業費、障害学童休日リフレッシュ事業費及び心身障害児(者)通所事業費)を統合し、事務事業名を「日中一時支援事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491123	事務事業名	補装具給付事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の身体障害者(児)及び難病患者等	意図(どういう状態にしたい): 失われた身体機能の代替により、日常生活の能率が向上する。 (給付件数 H26見込み:288件)	事業の内容 (手段)		●失われた身体機能を補完又は代替する用具の取得及び修理に掛かる補装具費の支給	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	年間給付件数 304件								直接事業費	千円	28,280	30,904	29,284	-
事業目標	目標名	給付件数	計算式	年間給付件数	単位	件	(予算額)	うち一財	千円	7,070	7,726	7,321	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	23,612	30,904		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	290.0	295.0	288.0	288.0	288.0	(決算額)	うち一財	千円	5,903	7,726		介護給付・訓練等給付事業費他3事業と統合	
	実績値	278.0	259.0	304.0				正職員人件費	千円	4,835	4,585			
	達成度(%)	95.9%	87.8%	105.6%				人工数	人	0.66	0.62	0.23		
								支出コスト	千円	決) 28,447	決見) 35,489			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	補装具給付事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.62		30,904	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 障害者総合支援法に基づき、適正に給付決定を行っている。 申請があったものに対して給付決定を行うため、給付件数や事業費は年度によって変動する。					A	改善案						
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	補装具製作技術の進歩により、新しい製作部品や対象に含まれる福祉用具が追加され、補装具費が高額になる傾向にある。 平成25年4月から、法律の改正により給付対象に難病患者等が追加された。	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	障害者総合支援法に基づき、適正な給付決定を行っている。 給付決定事務には、福祉用具の公的支給制度及び補装具の基本構造等の知識や身体障害者更生相談所との連携が必要である。		事業全体の課題・問題点	細事業に同じ。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	失われた身体機能を補完又は代替する用具の取得及び修理に掛かる補装具費の支給する障害者総合支援法の法定サービス事業。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
4事業(介護給付・訓練等給付事業費、高額障害福祉サービス費支給事業費、補装具給付事業費及び障害福祉サービス措置費)を統合し、事務事業名を「障害者自立支援給付事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491130	事務事業名	障害福祉サービス措置費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者(児)	意図(どういう状態にしたい): やむを得ない事由により介護給付費等の支給を受けることが著しく困難な者が障害福祉サービスを受けられる。 (給付日数 H26見込み:31日)	事業の内容 (手段)	●障害福祉サービス等の利用を必要とする障害者のうち、やむを得ない事由により介護給付費等の支給を受けることが著しく困難であると市が認めた者について障害福祉サービスを提供する措置		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	グループホームへの短期入所措置 24日間						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	173	173	173	-							
事業目標	目標名	措置日数	計算式	年間措置日数	単位	日	(予算額) うち一財	千円	44	44	43	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	0	146		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	18.0	-	31.0	31.0	31.0	(決算額) うち一財	千円	0	16		介護給付・訓練等給付事業費他3事業と統合	
	実績値	0.0	0.0	24.0			正職員人件費	千円	73	813			
	達成度(%)	0.0%	#VALUE!	77.4%			人工数	人	0.01	0.11	0.05		
							支出コスト	千円	決) 73	決見) 959			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	①		障害福祉サービス利用困難者居宅介護等措置費(経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
								0.11		146	可	否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 平成24年10月施行の障害者虐待防止法への対応事業としての役割も視野に入れた、事業の方向性の検討。				A	改善案					
②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	平成25年度より事業再編の上「障害福祉サービス措置費」として計上。平成24年10月より障害者虐待防止法の施行に伴い、虐待案件発生時の措置費としての機能も必要とされる	
	上記細事業①に同じ	事業全体の課題・問題点	上記細事業①に同じ

所管課評価				
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	平成25年度より事業再編の上「障害福祉サービス措置費」として計上。平成24年10月より障害者虐待防止法の施行に伴い、虐待案件発生時の措置費としての機能も必要とされる
			改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
4事業(介護給付・訓練等給付事業費、高額障害福祉サービス費支給事業費、補装具給付事業費及び障害福祉サービス措置費)を統合し、事務事業名を「障害者自立支援給付事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491131	事務事業名	身体障害者相談支援事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の身体障害者及びその家族		意図(どういう状態にしたい): 障害者及びその家族の在宅での自立及び社会参加を図るため、居宅サービスの利用援助、社会資源の利用を高める。 (相談件数 H26見込み:600件)		事業の内容 (手段)	●在宅の障害者及びその家族に、ピアカウンセリング、介護相談及び情報提供を行う事業を、周南3市共同の相談支援事業として、鼓ヶ浦整肢学園に委託

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	施設数 1箇所 相談件数160 件						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	5,361	5,448	9,538	-							
事業目標	目標名	相談件数	計算式	年間相談件数	単位	件	(予算額) うち一財	千円	5,361	5,448	7,581	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	5,361	5,448		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	410.0	410.0	600.0	200.0	200.0	(決算額) うち一財	千円	5,361	5,448		知的障害者相談支援事業費他5事業と統合	
	実績値	660.0	364.0	160.0			正職員人件費	千円	366	740			
	達成度(%)	161.0%	88.8%	26.7%			人工数	人	0.05	0.10	0.28		
							支出コスト	千円	決) 5,727	決見) 6,188			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	①	身体障害者相談支援事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
							0.10	0.05	5,448	可	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 平成24年度から指定特定相談支援事業所による計画相談支援事業が導入されており、当事業との整合性や考え方の整理に伴う委託料、委託先の査定再考が必要となっている。 委託事業所と市障害者支援課との連携や役割分担を考える必要がある。					B	改善案	平成27年度から知的障害者相談支援事業、身体障害者相談支援事業、精神障害者地域生活支援センター設置事業の内精神障害者相談支援に係る部分の事業を統合し、障害者総合相談支援事業とする見直しを行う。				
②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	H18年度の自立支援法施行に伴い創設された事業。障害福祉に関する制度の複雑化、障害者のニーズの多様化によって相談内容も複雑化し、より専門的な相談支援が求められている。平成24年度より計画相談支援事業が導入されており、サービス利用計画の作成に伴う相談事業も実施されている	前年度までの指摘事項	障害福祉サービスの支給に欠かせない事業である。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	上記細事業①に同じ		事業全体の課題・問題点	上記細事業①に同じ	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	周南3市で委託している事業で、障害福祉サービスの支給に欠かせない事業である。 委託相談支援事業所と市障害者支援課との連携・役割分担を必要とする必要がある。	改善案	平成27年度から知的障害者相談支援事業、身体障害者相談支援事業、精神障害者地域生活支援センター設置事業の内精神障害者相談支援に係る部分の事業を統合し、障害者総合相談支援事業とする見直しを行う。
----	---	---	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり
----	---	-----------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

事務事業名を「障害者相談支援事業費」とし、知的障害者相談支援事業費、身体障害者相談支援事業費、精神障害者地域生活支援センター設置事業費の内相談支援に係る事業費、身体障害者相談員設置事業費、知的障害者相談員設置事業費及び障害者社会参加等促進支援事業費の内ピアサポート委託料の部分を統合。また、27年度より相談支援の委託先(大和福祉会)を1カ所増やし、基幹相談支援センター(鼓ヶ浦整肢学園に委託)を設置した。

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491132	事務事業名	療養介護医療給付費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の医療と常時介護を必要とする障害者	意図(どういう状態にしたい): 療養介護施設に入所する障害者に適切な医療を提供することにより、当該障害者の健康が保たれ、QOL(生活の質)が向上する。 (給付件数 H26見込み:420件)	事業の内容 (手段)	●医療と常時介護を必要とする者に、医療機関で療養上の管理・看護等を行う療養介護医療費を支給		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	受給者数 35人 給付件数 420件								直接事業費	千円	34,455	31,529	31,529	-
								(予算額) うち一財	千円	8,631	7,900	7,900	-	-
事業目標	目標名	給付件数	計算式	年間給付件数	単位	件		直接事業費	千円	29,963	30,692		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	7,486	7,063		自立支援医療事業費と統合	
	目標値	408.0	408.0	420.0	420.0	420.0		正職員人件費	千円	1,465	444			
	実績値	332.0	413.0	420.0				人工数	人	0.20	0.06	0.10		
	達成度(%)	81.4%	101.2%	100.0%				支出コスト	千円	決) 31,428	決見) 31,136			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	① 療養介護医療給付費 (経常的事務事業)		上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員 0.06	臨時等	直接事業費 30,692	委託 否	臨時嘱託 否			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 事業費の増加は法改正によるもの。				細事業評価							
	②						A	改善案						
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
④														
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成24年4月1日からの児童福祉法の改正により、18歳以上の障害児施設入所者は障害者自立支援法の障害者施策により対応することになり、大幅に増加した。	前年度までの指摘事項	法定の事業。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	細事業の課題に同じ		事業全体の課題・問題点	左に同じ	

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	療養介護施設に入所している障害者に、適切な医療の提供を行うことで、健康を保ち、生活の質も向上させる事業で法の規定による事業。	改善案	
----	---	---	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	所管課評価のとおり
----	---	-----------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
2事業(自立支援医療事業費と療養介護医療給付費)を統合し、事務事業名を「自立支援医療・療養介護医療給付事業」とした。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491133	事務事業名	身体障害者訪問入浴サービス事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の身体障害者	意図(どういう状態にしたい): 家族の負担軽減と障害者の心身機能の維持を図る。 (利用回数 H26見込み:460回)	事業の内容 (手段)	●身体に障害があるため家庭において入浴することが困難な障害者に対し、訪問により居宅における入浴サービスを提供		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	利用者数	5名	延べ利用回数	287回	事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	5,684	5,017		5,893	-	-					
事業目標	目標名	利用回数	計算式	年間利用回数	単位	回	(予算額) うち一財	千円	1,421	1,254	1,473	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	3,642	3,606		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	310.0	460.0	460.0	460.0	460.0	(決算額) うち一財	千円	912	899		移動支援事業費 他4事業と統合	
	実績値	282.0	294.0	287.0			正職員人件費	千円	879	296			
	達成度(%)	91.0%	63.9%	62.4%			人工数	人	0.12	0.04	0.05		
							支出コスト	千円	決) 4,521	決見) 3,902			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否				
	①	身体障害者訪問入浴サービス事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
							0.04	0.05	3,606	可	可		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 他の方法では入浴困難な者に対するサービスであり、必要な事業であるが、市内にはサービス提供事業者がない。					A	改善案					
	②												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成18年から障害者自立支援法の地域生活支援事業となったが、23年度から利用回数を週1回から2回に見直し、24年度からは事業費は介護保険法に基づく「訪問入浴介護」の報酬、利用者負担は障害福祉サービスに準ずる取り扱いとした。	前年度までの指摘事項	当面、現制度で継続する。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	他の方法では入浴困難な者に対するサービスであり、必要な事業であるが、市内にはサービス提供事業者がない。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	他の方法では入浴困難な者に対するサービスであり、必要な事業。平成23,24年度に実施内容を見直しており、当面、継続して実施。	改善案	
----	---	---	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	所管課評価のとおり
----	---	-----------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

6事業(移動支援事業費、身体障害者訪問入浴サービス事業費、障害者コミュニティ活動支援事業費、福祉タクシー助成事業費、身体障害者運転免許取得助成事業費及び身体障害者用自動車改造助成事業費)を統合し、事務事業名を「居宅生活支援事業費」とした。

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491134	事務事業名	障害者福祉作業所運営事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者	意図(どういう状態にしたい): 在宅の心身障害者の、能力に応じた授産指導を行える。 (延利用者数 H26見込み:5,200人)	事業の内容 (手段)	●在宅の心身障害者で、事業所等に雇用されることが困難な者を対象に能力に応じた授産指導を行うため、地域活動支援センターⅢ型を設置及び委託。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	ア つくしの家 年度末利用者数 14人 利用日数 3,166人 イ 海月倶楽部 年度末利用者数 9人 利用日数 1,954人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	14,293	15,441	13,069	-	-
事業目標	目標名	利用者数	計算式	年間延利用者数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	12,043	12,191	10,819	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	14,059	14,560			対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	5,200.0	5,200.0	5,200.0	5,200.0	5,200.0	(決算額)	うち一財	千円	11,809	12,310			デイサービス事業費他1事業と統合
	実績値	5,035.0	5,042.0	5,120.0			正職員人件費	千円	366	444				
	達成度(%)	96.8%	97.0%	98.5%			人工数	人	0.05	0.06	0.10			
							支出コスト	千円	決) 14,425	決見) 15,004				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	障害者福祉作業所運営 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	0.05	0.05	13,995	可	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 つくしの家は、障害者デイサービスセンターの一室を福祉作業所として使用しており、十分なスペースがない。利用希望は多いが、現状でも定員を超えている状態である。					B	改善案	事業の実施場所の検討。指定管理者との協議。					
	②	障害者福祉作業所運営事業費負担金 (経常的事務事業)	下松市の地域活動支援センター「ゆたか園」利用者	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	0.01		565	否	可			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ゆたか園利用者に占める周南市の障害者の割合が年々増加している					A	改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	障害者自立支援法の施行(H18)により、地域活動支援センターとなった作業所内の、3事業所(なべづる園、さわやか工房、コスモス工房(下松市))が法定サービスへ移行した。	前年度までの指摘事項	日中活動の場として非常にニーズの高い事業である。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	地域活動支援センターとして必要性を踏まえながら、法定サービスへの移行も視野に入れた検討が必要である。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	日中活動の場として非常にニーズの高い事業である。	改善案	ニーズに合わせて実施方法を検討する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500302
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(2)就労支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
精神障害者地域生活支援センター設置事業費の内、通所支援に係る事業費と障害者福祉作業所運営事業費及びデイサービス事業費を統合し、事務事業名を「通所支援事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者(課長)	山本恭弘	評価責任者(部長)	大西輝政
事務事業コード	491141	事務事業名	障害者社会参加等支援事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害児及びその家族	意図(どういう状態にしたい): 障害のある子供や家族のふれあいを深める。 (参加者数 H26目標:240人)	事業の内容(手段)	●障害者福祉ネットワーク協議会に委託して、年に1回「集まれフェスタ」を開催		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	参加人数 256人					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
							直接事業費	千円	360	483	499	-	-
事業目標	目標名	参加者数	計算式	参加者数	単位	人	(予算額) うち一財	千円	90	108	111	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	360	462		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	200.0	200.0	240.0	240.0	240.0	(決算額) うち一財	千円	90	116		他の事業と統合	
	実績値	206.0	256.0	256.0			正職員人件費	千円	147	74			
	達成度(%)	103.0%	128.0%	106.7%			人工数	人	0.02	0.01	0.08		
							支出コスト	千円	決) 507	決見) 536			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否			
	①	障害者社会参加等支援事業 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員 臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.01	462	可	可			
	細事業の課題	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他 事業内容により、参加者の変動があるが、毎年精査していき、多くの参加者を確保していきたい。					B	改善案	事業内容を受託者と協議する。				
②													
細事業の課題	□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他						改善案	細事業評価					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価		
④											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
							改善案				
							改善案				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	障害者の社会参加に有効。	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	事業の内容と会場は毎年変わるため、参加者数に変動はあるが、一定の関係者は参加されている。事業内容については、毎年精査し協議していきたい。 参加者数確保のため、事業内容を毎年精査し、参加しやすい内容にしていく必要がある。他市の同様な事業を参考・研究しつつ実施したい。		

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由 事業の内容と会場は毎年変わるため、参加者数に変動はあるが、障害者の社会参加促進に有効	改善案 事業内容を受託者と協議する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
障害者社会参加等支援事業の内、ピアサポート委託料は障害者相談支援事業費に統合し、集まれフェスタ委託料はスポーツレク・リエーション活動支援事業費に統合した。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491142	事務事業名	身体障害者体育大会開催事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の身体障害者(児)	意図(どういう状態にしたい): 身体障害者同士の交流を推進するとともに、障害者の生きがいづくりに貢献する。 (周南市の参加者数 H26目標:150人)	事業の内容 (手段)	●周南3市の身体障害者が一同に会し、軽スポーツ等を体験するフェスタを開催(3市持ち回り、H25は下松市で開催)		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】	事業費						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
		直接事業費	千円	662	541	595	-							
キラリンピック(春・陸上ほか)33人、(秋・総合球技大会)51人 全国障害者スポーツ大会派遣選考会参加者(陸上ほか) 30人 周南3市ふれあいフェスタ 46人		(予算額)	うち一財	千円	314	280	334	-	-					
事業目標	目標名	参加者数	計算式	参加者数	単位	人	直接事業費	千円	310	391		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額)	うち一財	千円	56	229	他の事業と統合		
	目標値	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0	正職員人件費	千円	4,175	1,923				
	実績値	188.0	148.0	160.0			人工数	人	0.57	0.26	0.45			
	達成度(%)	125.3%	98.7%	106.7%			支出コスト	千円	決) 4,485	決見) 2,314				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	ふれあいフェスタ (経常的事務事業)	周南市内の身体障害者(児)	体育大会に参加することで社会参加が促進される	身体障害者同士の交流を推進するとともに、障害者の生きがいづくりに貢献する。	周南3市身体障害者ふれあいフェスタの開催	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.11		174	否	可			
	細事業の課題	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他 高齢化により参加者の減少が懸念される。					B	改善案	事業内容を精査し、高齢でも参加しやすい内容にしていく必要がある。					
②	キラリンピック (経常的事務事業)	周南市内の身体障害者(児)	体育大会に参加することで社会参加が促進される	身体障害者同士の交流を推進するとともに、障害者の生きがいづくりに貢献する。	キラリンピック、全国障害者スポーツ大会への参加	0.14	0.05			可	可			
細事業の課題	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他 参加競技にある程度の経験が必要であり、個人参加者については、固定化・高齢化により参加人数の減少が懸念される。					B	改善案	障害者スポーツの啓発を行っていく。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	③	ふれあいフェスタ負担金 (経常的事務事業)	周南市内の身体障害者 (児)	体育大会に参加することで社会参加が促進される	身体障害者同士の交流を推進するとともに、障害者の生きがいづくりに貢献する。	周南3市身体障害者ふれあいフェスタの開催	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
							0.01		217				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 参加者の減少を留めらせるような事業を検討する必要がある。				細事業評価	B	改善案	事業内容を精査し、参加者を増やす工夫が必要。				
	④												
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価		改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	毎年多くの参加者があり、平成23年に山口県で開催された全国障害者スポーツ大会の影響により今後、障害者スポーツの強化も予想されるところである。		障害者の社会参加促進に有効で、県の主催や周南3市共同開催の事業である。
	周南3市の大会については、参加者からの強い要望により継続している。	事業全体の課題・問題点	参加者の高齢化により参加者の減少が懸念されるが、障害者の社会参加を促進するための必要不可欠な事業であるため、内容を精査した上で継続すべきである。

所管課評価					
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由 障害者の社会参加促進に有効で、県の主催や周南3市共同開催の事業である	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
身体障害者体育大会開催事業費と障害者社会参加等支援事業の内集まれフェスタ委託料を統合し、事務事業名を「スポーツレク・リレーション活動支援事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491143	事務事業名	療育訓練参加促進事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害児及びその保護者		意図(どういう状態にしたい): 療育キャンプへの参加を促進し、在宅の心身障害児及び保護者に対する療育の充実が図られる。 (参加者数 H26見込み:8組)		事業の内容 (手段)	●在宅の心身障害児とその保護者が、療育専門指導員の下に療育訓練設備を有する施設において行われる療育キャンプに参加した場合に、1組30,000円以内で費用を補助(山口県あすなろ会主催、山口県ふれあいパーク他)

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	参加親子 3組 助成金額 90千円						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
									直接事業費	千円	360	240	240	-	-
							(予算額) うち一財	千円	90	60	60	-	-		
事業目標	目標名	参加親子		計算式	年間参加親子		事業費	直接事業費	千円	90	120		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	23	30		療育専門職員招へい事業費他1事業と統合		
	目標値	12.0	12.0	8.0	8.0	8.0		正職員人件費	千円	440	74				
	実績値	5.0	3.0	4.0				人工数	人	0.06	0.01	0.03			
	達成度(%)	41.7%	25.0%	50.0%				支出コスト	千円	決) 530	決見) 194				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否				
	① 療育訓練参加促進事業費 (経常的事務事業)		上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	0.01	臨時等	直接事業費	120	委託	否	臨時嘱託	可
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 制度の対象となるキャンプが限られているため、近年の参加人数に大きな変動は見られないが、他団体からの申請により今後増加する可能性がある。				B	改善案	利用者が増加していくようであれば、制度の見直しが必要となる。						
	②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成16年度に助成額を見直し、減額をした。平成18年10月から地域生活支援事業になったことから、事業内容を他市等と比較しながら検討した結果、現行通りとしている。助成対象のキャンプが現在は少ないが、他団体からの申請も今後増加する可能性がある。	前年度までの指摘事項	今後も必要な事業。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	上記細事業の課題と同じ		事業全体の課題・問題点	細事業と同じ	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	地域生活支援事業であり、今後も必要な事業である。	改善案	利用者が増加していくようであれば、制度の見直しが必要となる。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
3事業(療育訓練参加促進事業費、療育専門職員招へい事業費及び心身障害児母子通園訓練事業費)を統合し事務事業名を「療育訓練等事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491144	事務事業名	療育専門職員招へい事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害児(者)及びその家族		意図(どういう状態にしたい): 訓練を通して、障害児・者の生活自立、情緒の安定及び親の情報交換が行える。 (参加者数 H26見込み:500人)		事業の内容 (手段)	●九州大学リハビリテーション研究所等から専門職員を招聘し、徳山社会福祉センター等で療育指導を「周陽ひまわり会」に委託

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	参加者数	実施回数												直接事業費
事業目標	目標名	参加者数	計算式	参加者数	単位	人	事業費	(予算額) うち一財	千円	214	214	214	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	853	853		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	500.0	500.0	500.0	500.0	500.0		(決算額) うち一財	千円	214	214		心身障害児母子通園訓練事業費	
	実績値	515.0	488.0	545.0				人工数	人	0.06	0.03	0.02	他1事業と統合	
	達成度(%)	103.0%	97.6%	109.0%				支出コスト	千円	決) 1,293	決見) 1,075			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 療育専門職員招へい事業費 (経常的事務事業)		上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.03		853	可	可			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 事業への参加者は徐々に増加しているが、さらなる事業の認知度を高めていく必要がある。				B	改善案	事業の広報。					
②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題					改善案							
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題					改善案							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	保護者の自助組織で開始した事業である。現在もその形態を継続している。	前年度までの指摘事項	事業効果や実施方法等、検証しながら事業を継続。	指摘事項に対する改善状況	事業の広報。
	細事業の課題・問題点	事業への参加者は徐々に増加しているが、さらなる事業の認知度を高めていく必要がある。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	事業効果や実施方法等、検証しながら事業を継続	改善案	事業の広報。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
3事業(療育訓練参加促進事業費、療育専門職員招へい事業費及び心身障害児母子通園訓練事業費)を統合し、事務事業名を「療育訓練等事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491146	事務事業名	地域自立支援協議会設置事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者(児)	意図(どういう状態にしたい): 地域の障害福祉に関するシステムづくりに関しての協議と、障害福祉の計画推進の具体的協議を行い、障害者福祉の推進に貢献。 (協議会開催回数 H26目標:30回)	事業の内容 (手段)	●地域自立支援協議会並びに相談支援、地域生活、就労及び教育の専門部会、個別ケア会議の開催		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	協議会 4回		運営会議 4回		専門部会 19回		項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	直接事業費	千円	369	491	475	-								-	
事業目標	目標名	協議会・部会等開催回数		計算式	協議会・部会等開催回数		単位	回							
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度									
	目標値	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0									
	実績値	25.0	22.0	27.0											
	達成度(%)	83.3%	73.3%	90.0%											
	事業費	直接事業費		千円	134	230			対27年度増減理由		対28年度増減理由				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類	地域自立支援協議会 (経常的事務事業)		事務対象	上記事務事業に同じ		事務業務目的	上記事務事業に同じ		H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否	
	①										0.02	230	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 有意義な協議ができるよう、協議資料を工夫する必要がある。							B	改善案	ポイントを絞った資料を作成する。進行役である会長との事前の打ち合わせを十分に作る。				
	②	相談支援会議 (経常的事務事業)									0.13	-	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 圏域の事業所の連携やスキルアップを図る研修の充実のために事業に必要な経費について検討が必要である。							B	改善案	専門部会の委員とも協議し、効率的な研修にする。				

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
事業を構成する細事業 【26年度実績】	③	教育部会	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	教育という側面から教育機関をはじめとする各関係者による課題協議、情報共有(4回開催)	0.20		-	否	否		
		(経常的事務事業)											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 該当なし						細事業評価					
	④	就労部会	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	障害者の就労という点での関係機関による協議、情報共有(2回開催)	0.25		-	否	否		
		(経常的事務事業)											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 就労継続支援A型事業所の誘致についての協議が進んでいかない。						細事業評価					
⑤	地域生活部会	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	障害者が地域の中で生活するという点について関係機関の協議、情報共有(会議4回、地域活動2回開催)	0.01		-	否	否			
	(経常的事務事業)												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 該当なし						細事業評価						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	制度の改正等に伴い、障害者をとりまく地域の状況には様々な課題が発生しており、より柔軟な発想による協議が求められている。	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	上記細事業①②④のとおり		事業全体の課題・問題点	地域課題を協議会へつなぐ仕組みの充実	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	有意義な協議、地域課題についての取組みなど、検討すべき課題は多い。	改善案	情報収集が重要。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
2事業(地域自立支援協議会設置事業費と障害者の福祉を考える集い開催事業費)を統合し、事務事業名を「地域自立支援協議会運営事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491149	事務事業名	障害児通所事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害児	意図(どういう状態にしたい): 障害児の発達の支援とともに、保護者の就労等の支援や一時的な休息を可能とする。 (延利用者数 H26見込み: (3人+2人)*293日*0.9=1,319人)	事業の内容 (手段)	●在宅の障害児を対象に、日常生活訓練等を行う預かりサービスを提供		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	ア 新南陽福祉の会 年度末利用者 43人 延利用者数 1,087人 イ 鼓ヶ浦整肢学園 年度末利用者 2人 延利用者数 355人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	14,034	12,740	8,011	-		-						
事業目標	目標名	利用者数	計算式	延利用者数	単位	人	(予算額) うち一財	千円	4,922	11,513	7,539	-	-	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	14,034	11,835		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	1,836.0	1,836.0	1,319.0	1,319.0	1,319.0	(決算額) うち一財	千円	9,915	11,835		日帰りショートステイ事業費他2事業と統合		
	実績値	1,755.0	1,670.0	1,442.0			正職員人件費	千円	1,612	740				
	達成度(%)	95.6%	91.0%	109.3%			人工数	人	0.22	0.10	0.29			
							支出コスト	千円	決) 15,646	決見) 12,575				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	障害児通所事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.10	0.07	11,835	可	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 事業(定員)拡大の要望が多いが、法定サービスとの兼ね合いを考慮しつつ、その時々ニーズに対応した適正な規模で運営することが必要である。					B	改善案	H26年度契約方法の見直しにより一部実績払いの方法を取り入れた。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	他に代えがたい、またニーズの高い事業である。	指摘事項に対する改善状況
細事業の課題・問題点	タイムケア事業、デイ・ケア推進事業を整理統合する形で開始したもの。24年4月の児童福祉法改正に伴い、障害児の通所給付が市へ移管し、身近なサービス提供事業所として放課後等デイサービス等の法定サービス事業が位置づけられ、それを補完する役割を担っている。			
	鼓ヶ浦整肢学園には、医療的ケアが必要な児の放課後等支援を委託しており、他に代え難い事業である。新南陽福祉の会への委託は、西部に放課後等デイサービス等の法定事業所がない中、保護者の信頼もニーズも高いが、将来的には、法定サービスへの移行を促したい。	事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	平成24年度に事業を見直し事業再編を行った中の一つ。鼓ヶ浦整肢学園は、医療的ケアが必要な児の放課後等支援を委託しており、他に代え難い事業である。新南陽福祉の会への委託は、西部に放課後等デイサービス等の法定事業所がない中、保護者の信頼もニーズも高い事業。
			改善案	ニーズ等の状況に合わせて法定化への推進も図りたい。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
4事業(日帰りショートステイ事業費、障害児通所事業費、障害学童休日リフレッシュ事業費及びびん身障害児(者)通所事業費)を統合し、事務事業名を「日中一時支援事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491153	事務事業名	福祉ホーム事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者	意図(どういう状態にしたい): 住居を求めている障害者に、低額な料金で居室その他の設備を利用させるとともに、日常生活に必要な便宜を提供する。 (利用者数H26見込み:1人)	事業の内容 (手段)	●事業を実施している安芸高田市に対しての本市利用者分に係る負担金		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	利用者 1人、負担金額 168千円						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	168	168	168	168
事業目標	目標名	利用者数	計算式	利用者数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	168	168	168	168	168
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	168	168		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	(決算額)	うち一財	千円	168	168			
	実績値	1.0	1.0				正職員人件費	千円	73	74				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	0.0%			人工数	人	0.01	0.01	0.01			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 福祉ホーム事業費 (経常的事務事業)		上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.01		168	否	可			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 支払い業務のみである。				細事業評価							
	②						A 改善案							
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								
						改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	障害者自立支援法の施行により、市町村の地域生活支援事業に位置づけられた事業。障害者自立支援法施行以前より、現福祉ホームを利用している本市利用者がいる。	前年度までの指摘事項	利用が続けば必要。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	細事業の課題に同じ		事業全体の課題・問題点	左に同じ	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	安芸高田市所在の事業所の周南市の利用者に係る安芸高田市への負担金で利用が続けば必要。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491154	事務事業名	障害学童休日リフレッシュ事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の学校等に通学する障害児	意図(どういう状態にしたい): 地域社会における障害児の自立を促進するとともに、学校週5日制及び休日に対応した障害児の過ごす場を確保 (述利用者数 H26見込み:210人)	事業の内容 (手段)		●総合支援学校に通学する障害児を対象として、休日を活用した日常生活訓練や機能回復訓練などの指導・訓練を委託	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	登録者数 16人 延利用者数 289人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	3,534	3,667	3,534	-
事業目標	目標名	利用者数	計算式	年間延利用者数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	1,868	1,602	1,465	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	3,352	3,430		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	200.0	210.0	210.0	210.0	210.0	(決算額)	うち一財	千円	2,563	1,600	障害児通所事業費他2事業と統合		
	実績値	204.0	267.0	289.0			正職員人件費	千円	1,319	740				
	達成度(%)	102.0%	127.1%	137.6%			人工数	人	0.18	0.10	0.17			
							支出コスト	千円	決) 4,671	決見) 4,170				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	旧熊毛公民館管理 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	0.07		1,435	可	可			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 実施場所は古い建物であり、修繕費等がかさむ傾向がある。				B	改善案	近隣の学校施設等を検討。					
②	障害学童休日リフレッシュ事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	0.03	0.06	1,995	可	可				
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 実施場所は古い建物であり、新たな実施場所を確保する必要がある。				B	改善案	近隣の学校施設等を検討。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	細事業評価								
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他							改善案				
	④											
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他							改善案				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
	熊毛地域の社協・父母会の事業から発展したもの。平成22年に要綱を改正し、委託内容の見直しを行った。また、平成24年にデイ・ケア、タイムケア等通所事業の見直しに伴い、利用者負担の見直しを行った。		旧熊毛公民館を使用して事業を実施している。休日、長期休暇時の日中活動支援のニーズは高いため、登録者の増加につながるPR等が必要である。	近隣の学校施設等を検討。
			同左	

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	休日、長期休暇時の日中活動支援のニーズは高く、継続して実施するが、実施場所については今後調整が必要。 改善案 近隣の学校施設等を検討。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり 事業の実施場所は今後の課題

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
4事業(日帰りショートステイ事業費、障害児通所事業費、障害学童休日リフレッシュ事業費及び心身障害児(者)通所事業費)を統合し、事務事業名を「日中一時支援事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491155	事務事業名	障害者コミュニティ活動支援事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の歩行が困難な障害者	意図(どういう状態にしたい): 移動困難な重度障害者のコミュニティ活動、社会生活活動を支援 (利用件数 H26目標:30回)	事業の内容 (手段)	●障害者及び障害者の団体へのリフト付き福祉車両の無償貸与		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	年間利用件数:12件						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	615	469	593	-								-
	(予算額)	うち一財	千円	615	469	593								
事業目標	目標名	利用件数	計算式	年間利用件数	単位	件	事業費	直接事業費	千円	446	377	対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額)	うち一財	千円	446	377	移動支援事業費他4事業と統合	
	目標値	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0				正職員人件費	千円	366	370	
	実績値	27.0	12.0	10.0						人工数	人	0.05	0.05	0.01
	達成度(%)	90.0%	40.0%	33.3%						支出コスト	千円	決) 812	決見) 747	
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 障害者コミュニティ活動支援事業費 (ソフト事業)		上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.05		377	可	可			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 臨時・属託職員を活用することで、効率化を図ることが可能だと思われる。利用件数が減少してきている。				B	改善案	細事業評価 臨時・嘱託職員の活用。 障害者団体等への事業のPR。					
②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	障害者の移動手段は重要な問題であり、公共交通機関での対応も不十分であるため、コンスタントに利用されている。福祉車両の運行範囲の改正を行う予定。※「県内で日帰り」→「2日以内であれば複数の運転者のもと、県外も認める」とする。	前年度までの指摘事項	障害者の社会参加の促進に有効な事業	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	臨時・嘱託職員を活用することで、効率化を図ることが可能だと思われる。		事業全体の課題・問題点	細事業と同じ。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	障害者の社会参加の促進に有効な事業	改善案	臨時・嘱託職員の活用。 障害者団体等への事業のPR。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
6事業(移動支援事業費、身体障害者訪問入浴サービス事業費、障害者コミュニティ活動支援事業費、福祉タクシー助成事業費、身体障害者運転免許取得助成事業費及び身体障害者用自動車改造助成事業費)を統合し、事務事業名を「居宅生活支援事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者(課長)	山本恭弘	評価責任者(部長)	大西輝政
事務事業コード	491156	事務事業名	心身障害児(者)通所事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害児	意図(どういう状態にしたい): 心身障害児(者)を一時的又は一定期間介護することにより、介護する家族の負担を軽減する。 (延利用日数 H26見込み:40日)	事業の内容(手段)	●心身障害児(者)を一時的又は一定期間介護することにより、介護する家族の負担を軽減する事業を実施している光市へ本市利用者分を負担		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	光市 レスパイト事業:利用人数 3人 延利用日数43日						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
	【26年度】							直接事業費	千円	191	171	151	-	-			
事業目標	目標名	利用日数	計算式	年間延利用日数	単位	日	(予算額)	うち一財	千円	191	171	151	-	-			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	146	171		対27年度増減理由	対28年度増減理由				
	目標値	350.0	50.0	40.0	40.0	40.0	(決算額)	うち一財	千円	146	171	障害児通所事業費他2事業と統合					
	実績値	323.0	36.0	43.0			正職員人件費	千円	73	148							
	達成度(%)	92.3%	72.0%	107.5%			人工数	人	0.01	0.02	0.01						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト		委託等の可否	
	事業の分類											正職員		臨時等		直接事業費	
	①	心身障害児(者)通所事業費(ソフト事業)	上記事務事業に同じ		上記事務事業に同じ		上記事務事業に同じ		上記事務事業に同じ			0.02		171		可 可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 周南圏域で、相互に事業が利用できる態勢にあるのは、利用者にとって大変メリットがある。3市協議を進めて円滑に事業が行えるようにすることが大切である。						A		改善案							
	②																
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他																

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③												
			正職員	臨時等	直接事業費	委託							
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	本市の障害児・者が利用する他市事業の負担金。25年度から下松市の事業が法定サービス(放課後等デイサービス・生活介護)へ移行したため、負担金は廃止。光市のレスパイト事業補助金額は減額された。	前年度までの指摘事項	継続して実施。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	周南圏域で、相互に事業が利用できる態勢にあるのは、利用者にとって大変メリットがある。3市協議を進めて円滑に事業が行えるようにすることが大切である。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	本市の障害児・者が利用する他市事業の負担金であり、継続して実施。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
4事業(日帰りショートステイ事業費、障害児通所事業費、障害学童休日リフレッシュ事業費及び心身障害児(者)通所事業費)を統合し、事務事業名を「日中一時支援事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491157	事務事業名	障害児通所給付等事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害児	意図(どういう状態にしたい): 障害児の健やかな発達を促し、保護者の子への理解を支援するとともに、レスパイト(休息)に役立つ。 (給付件数 H26見込み:2,120件)	事業の内容 (手段)	●身体に障害のある児童、知的障害のある児童又は精神に障害のある児童を対象に、通所利用の支援専門施設への通所給付費を支給		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】	事業費						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
		直接事業費	千円	126,572	139,029	140,536	180,528								140,536
障害児相談支援 176件 児童発達支援 521件 放課後等デイサービス 1380件								(予算額) うち一財	千円	31,867	35,149	35,536	45,528	35,536	
事業目標	目標名	給付件数	計算式	年間給付件数	単位	件	直接事業費	千円	101,727	137,083		対27年度増減理由	対28年度増減理由		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	25,677	34,597		H27実績見込みと新規分より算出し増額			
	目標値	600.0	1,340.0	2,120.0	2,120.0	2,120.0	正職員人件費	千円	2,271	5,177	0.30				
	実績値	1,027.0	1,555.0	2,077.0			人工数	人	0.31	0.70					
	達成度(%)	171.2%	116.0%	98.0%			支出コスト	千円	決) 103,998	決見) 142,260					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否				
	①	障害児通所給付等事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	0.70	臨時等	直接事業費	137,083	委託	否	臨時嘱託	可
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
	利用希望者、指定事業者ともに増加しているため、費用の伸びは不可避である。 支給決定のための相談業務に十分時間を使うためにも、システム入力や経理関係業務の改善を図りたい。						B	改善案	システム入力や経理関係業務の改善。臨時職員の活用。						
	②														
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価									
							改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	24年4月からの児童福祉法改正により、障害児通所給付等に係る支給決定及びそれに伴う給付費の1/4負担が市の事務となった。	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	障害児の放課後支援及び療育訓練に係る利用希望者の増加が著しく、周南圏域における新規事業所の開所も続いていることから、当分の間、利用者数の増加が続くと思われる。適切な支援が受けられるよう、相談支援の重要性も増している。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	児童福祉法による法定サービス。定型的な事務の効率化を図りたい。	改善案	システム入力や経理関係業務の改善。臨時職員の活用。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491171	事務事業名	難聴児補聴器給付事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の軽度・中等度難聴児		意図(どういう状態にしたい): 幼児期から補聴器を装着することにより、言語能力の健全な発達と学力の向上が図られる。 (給付件数 H26見込み:20件)		事業の内容 (手段)	●障害者自立支援法の補装具費支給制度の補完的措置として、「軽度・中等度」の難聴児に対して、補聴器の購入費等を助成(県制度)

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	給付件数:購入0件、修理8件						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	425	1,261	406	429							
							(予算額) うち一財	千円	213	631	203	215	203
事業目標	目標名	給付件数	計算式	年間給付件数	単位	件	直接事業費	千円	512	60		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	256	30		過去3年分の実績とH27の見込の平均より算出	
	目標値	7.0	11.0	20.0	20.0	20.0	正職員人件費	千円	733	1,479			
	実績値	5.0	12.0	8.0			人工数	人	0.10	0.20	0.10		
	達成度(%)	71.4%	109.1%	40.0%			支出コスト	千円	決) 1,245	決見) 1,539			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	① 難聴児補聴器給付事業費 (経常的事務事業)		上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否
							0.20		60				
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 単県事業である。補装具費給付制度の補完的措置であり、給付決定及び支払い事務手順は補装具費給付制度に準じている。				A	改善案					
	②												
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
④														
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	平成24年8月1日から新たに開始された事業であり、環境変化は見られない。		
	細事業の課題・問題点	事業全体の課題・問題点	細事業に同じ。
	平成24年8月1日から新たに開始された事業であり、平成24年度の給付見込件数は他県の実績を基にしたものである。そのため、今後は給付件数が変動する可能性がある。今後も県の要綱及び市の要綱に基づき、適正に給付決定を行う。		

所管課評価

評価	A	評価理由	改善案
	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	障害者総合支援法の補装具費給付の対象とならない難聴児を補完する単県事業で、平成24年8月に再度が発足したばかりでこのまま継続。	

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	コメント
		所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

改善結果(平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など))

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491172	事務事業名	障害者虐待防止事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者(児)	意図(どういう状態にしたい): 障害者虐待の防止及び虐待を受けた障害者とその養護者の保護・自立の支援を行う。 (虐待対応 H26目標:100%)	事業の内容 (手段)	●障害者虐待に対する体制整備として、障害者虐待対応協力者連絡会議を開催し、制度法律の周知、虐待通報、相談等の協力と、事案発生時の協力を要請(構成員26人…含む市関係者6人)		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	平成26年4月25日周南市障害者虐待対応協力者連絡会議を開催 寄せられた通報に対してはすべて対応(4件)								直接事業費	千円	186	186	186	-	-
事業目標	目標名	虐待対応		計算式	虐待対応/虐待通報		単位	%	(予算額) うち一財	千円	186	186	47	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	59	47		対27年度増減理由	対28年度増減理由		
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	(決算額) うち一財	千円	59	47		成年後見制度利用支援事業費と統合			
	実績値	100.0	100.0	100.0			正職員人件費	千円	1,831	740					
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.25	0.10	0.11				
							支出コスト	千円	決) 1,890	決見) 787					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否						
	①	障害者虐待防止事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託				
							0.10		47	否	否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 事案発生後の対応体制についてはほぼ確立し、成果があがっているが、虐待の予防や継続支援に係る見守りネットワークの構築などについては、検討の余地がある。					B	改善案	具体的な事例への対応をモデルに連絡会議で検討する。						
	②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費		委託	臨時	
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成24年10月より障害者虐待防止法が施行され、市の対応が法制化された。	前年度までの指摘事項	障害者虐待防止法に規定された市町の事業である。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	上記細事業①に同じ		事業全体の課題・問題点	上記細事業①に同じ	

所管課評価

評価	B	A	計画どおりに事業を進める	評価理由	改善案	具体的な事例への対応をモデルに連絡会議で検討する。
		B	実施方法やコスト等を見直しのうえ継続	障害者虐待防止法に規定された、障害者虐待の防止及び虐待を受けた障害者とその養護者の保護・自立の支援を行う事業である。虐待の予防や継続支援に係る見守りネットワークの構築などについては、検討の余地がある。		
		C	事業統合や外部委託等による大幅な見直し			
		D	休止・廃止の検討			

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500303
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(3)差別解消の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
2事業(成年後見制度利用支援事業費と障害者虐待防止事業費)を統合し、事務事業名を「障害者権利擁護事業費」とした。

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491195	事務事業名	緊急雇用創出事業臨時特例交付金事業費(相談支援従事者育成事業)	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 求職者	意図(どういう状態にしたい): 若者の人材育成、障害者総合支援法に基づく相談支援事業所等での人材を確保する。 (雇用者数 H26目標:4人)	事業の内容 (手段)	●相談支援事業所が求職者を雇用し、職場内での研修と外部研修により、相談支援従事者を育成		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	求職者の新規雇用 4名						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	直接事業費	千円		15,600											
	(予算額)	うち一財	千円		0										
事業目標	目標名	新規雇用者数	計算式	新規雇用者数	単位	人	事業費	直接事業費	千円		12,000		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額)	うち一財	千円		0		H26年度で事業終了	
	目標値	-	-	4.0	-	-		正職員人件費	千円		0	740			
	実績値	-	-	4.0				人工数	人			0.10			
	達成度(%)			100.0%				支出コスト	千円		決) 0	決見) 12,740			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否						
	①		緊急雇用創出事業臨時特例交付金事業費(相談支援(ソフト事業))	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
								0.10		12,000	可	可			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 12ヶ月の雇用ができるよう事前に準備する必要がある。 当初から、1年度限りの事業である。				D	改善案							
	②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題											改善案	
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題											改善案	

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	なし。	前年度までの指摘事項	H26年度からの事業。	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	12ヶ月の雇用ができるよう事前に準備する。		事業全体の課題・問題点	事業実施の前年度における準備作業を早めに行う。

所管課評価					
評価	D	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	12ヶ月の雇用ができるよう事前に準備する。当初から、1年度限りの事業である。	改善案

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	D 所管評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	492038	事務事業名	障害者の福祉を考える集い開催事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 共生社会の理念普及、障害者の社会参加の促進のための理解を広める。 (参加者数 H26目標:200人)	事業の内容 (手段)	●共生社会の理念普及、障害者の社会参加の促進のための啓発、広報を目的として集いを開催		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	平成27年1月18日開催。テーマ:ピアノの調べがこころをつなぐ。300人参加。周南市地域自立支援協議会専門部会の活動紹介						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	275	292	293	-
事業目標	目標名	参加者数	計算式	参加者数	単位	人	(予算額) うち一財	千円	70	73	74	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	186	146		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	300.0	200.0	200.0	200.0	200.0	(決算額) うち一財	千円	47	37		地域自立支援協議会設置事業費と統合	
	実績値	130.0	140.0	300.0			正職員人件費	千円	733	518			
	達成度(%)	43.3%	70.0%	150.0%			人工数	人	0.10	0.07	0.20		
							支出コスト	千円	決) 919	決見) 664			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	①		障害者の福祉を考える集い開催事業費 (ソフト事業)	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
								0.07	0.05	146	可	否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 内容を視覚障害者のピアノ演奏にしたところ参加者が増加した。企画内容、開催期日、広報活動の内容を検討し、更に参加者を増やしたい。				B	改善案	地域自立支援協議会の専門部会の部会長等に相談し、有効な手立てを検討する。				
②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他											

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成20年度から委託方式にて実施、24年度からは本市の直接実施となっている事業。広く市民に障害者への理解を求める機会となっている。平成25年度から地域生活支援事業の必須事業となる。	前年度までの指摘事項	平成24年度から業務委託をやめ、地域自立支援協議会と社会福祉協議会による実行委員会にて企画立案し、市が直接実施されるとのこと。市民が参加し易い集いになるよう努められたい。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	上記課題、対応方針に同じ ○総合支援法に基づき、障害者の理解についての啓発の場になっているので、市民が参加しやすい参加型のテーマで、障害者への理解を深めていける内容となるようめざしていきたい。		事業全体の課題・問題点	上記課題、対応方針に同じ	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	広く市民に障害者への理解を求める機会となっている事業であり、平成25年度から地域生活支援事業の必須事業となる。	改善案	事業の内容、市民へのPR等について、地域自立支援協議会の専門部会の意見を聞く。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
2事業(地域自立支援協議会設置事業費と障害者の福祉を考える集い開催事業費)を統合し、事務事業名を「地域自立支援協議会運営事業費」とした。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491013	事務事業名	心身障害者扶養共済制度掛金助成事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 山口県心身障害者扶養共済制度に加入している周南市内の保護者等		意図(どういう状態にしたい): 保護者が亡くなった後の心身障害者(児)の生活安定と福祉の増進を図る。 (助成対象者数 H26見込み:83人)		事業の内容 (手段)	●山口県心身障害者扶養共済制度掛金の2分の1を助成

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	助成件数 66件 助成金額 5,535,100円								直接事業費	千円	8,469	8,133	7,355	6,044	7,355
								(予算額) うち一財	千円	8,469	8,133	7,355	6,044	7,355	
事業目標	目標名	助成件数		計算式	助成件数		単位	件	直接事業費	千円	6,307	5,535		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度									
	目標値	94.0	89.0	83.0	83.0	83.0									
	実績値	82.0	79.0	66.0											
	達成度(%)	87.2%	88.8%	79.5%											
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト		委託等の可否		
	①	心身障害者扶養共済制度掛金助成事業費 (ソフト事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ		上記事務事業に同じ		上記事務事業に同じ		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
										0.10		5,535	否	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 障害のある方の将来に対し、保護者がいなく不安の軽減を図ることを目的で生まれた制度で、推進するべき事業であるため、制度の周知を図っていかなければならない。						B	改善案	単独市費の事業であるので、他の単独市費事業との均衡、他市の実施状況を見ながら、必要な見直しを検討する。					
	②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
							改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	加入件数に比例し、助成額は変動している。平成20年4月から掛金が上がったことで、今後、新規加入者の伸びが鈍り、また、既加入者の脱退も増えることが予想されることから、助成対象者は減少すると思われる。	前年度までの指摘事項	所管課評価のとおりであるが、対象を1口までとするなど、他市の状況等を勘案しながら、助成内容を検証されたい。	指摘事項に対する改善状況	単独市費の事業であるので、他の単独市費事業との均衡、他市の実施状況を見ながら、必要な見直しを検討する。
	細事業の課題・問題点	加入者に自助努力を求める制度で、推進するべき事業であるため、制度の周知を図っていないかなければならない。		事業全体の課題・問題点		心身障害者の生活の安定と福祉の増進を図るため、継続するべき事業であるが、他市の状況等を見ながら事業を続けていく。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	障害者の生活の安定を図るため継続して実施。	改善案	他の単独市費事業との均衡、他市の実施状況を見ながら、必要な見直しを検討する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491017	事務事業名	身体障害者福祉施設整備費等助成事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 民間法人	意図(どういう状態にしたい): 障害者福祉施設の運営の安定に寄与する。 (助成法人数 H26目標:1法人)	事業の内容 (手段)	●民間の法人が整備した施設の整備費を補助(債務負担)		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】	事業費						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
		直接事業費	千円	3,905	3,897	3,890	-								-		
鼓澄苑とデイサービスセンターの建設に係る償還金を民間法人に補助した。 平成9年度から平成28年度まで。(債務負担)		(予算額)	うち一財	千円	3,881	3,879	3,878	-	-								
事業目標	目標名	助成施設	計算式	助成施設	単位	施設	直接事業費	千円	3,905	3,897		対27年度増減理由	対28年度増減理由				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額)	うち一財	千円	3,881	3,879	心身障害児福祉施設整備費等助成事業費他1事業と統合					
	目標値	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	正職員人件費	千円	73	74							
	実績値	2.0	2.0	1.0			人工数	人	0.01	0.01	0.01						
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			支出コスト	千円	決) 3,978	決見) 3,971							
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト		委託等の可否	
	事業の分類											正職員		臨時等		直接事業費	
	①	鼓ヶ浦身体障害者療護施設・デイサービスセンター建設費補助金 (施設等整備事業)	上記事務事業に同じ		上記事務事業に同じ		上記事務事業に同じ		上記事務事業に同じ			0.01		3,897	否	可	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 総額数千万円、複数年にわたる助成であり、新たな助成は財政の硬直化の一因となる。						A		改善案						
	②																
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他															

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③												
			正職員	臨時等	直接事業費	委託							
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成20年度末に、高齢者施設、児童施設までを含めた施設整備に係る助成を要綱として定めた。	前年度までの指摘事項	現状は、債務負担によるものである。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	細事業の課題で述べたとおり。		事業全体の課題・問題点	細事業の課題で述べたとおり。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	現状は、債務負担によるものである。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	A	所管課評価のとおり。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
3事業(身体障害者福祉施設整備費等助成事業費、心身障害児福祉施設整備費等助成事業費及び知的障害者福祉施設整備費等助成事業費)を統合し、事務事業名を「障害児・者福祉施設整備費助成事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491018	事務事業名	重度障害者電話料金助成事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者	意図(どういう状態にしたい): 経済的負担の軽減を図るとともに、安否確認や社会参加を促す。 (助成対象者数 H26見込み:6人)	事業の内容 (手段)	●在宅の重度障害者に対し、福祉電話を貸与		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	助成人数:3人						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	147	152	152	-							
	(予算額) うち一財	千円	147	152	152	-	-						
事業目標	目標名	助成人数	計算式	助成人数	単位	人	事業費	直接事業費	千円	61	62	対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	61	62	見守り配食事業費他1事業と統合	
	目標値	11.0	6.0	6.0	6.0	6.0		正職員人件費	千円	366	148		
	実績値	11.0	3.0	6.0				人工数	人	0.05	0.02		
	達成度(%)	100.0%	50.0%	100.0%				支出コスト	千円	決) 427	決見) 210		
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否				
	①	重度障害者電話料金助成事業費 (ソフト事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.02	62	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 電話加入権が廃止になる場合、電話加入権の貸与が不可能になる。					細事業評価	A	改善案				
	②												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価		改善案					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	①携帯電話が普及していることから、携帯電話保有者で福祉電話の必要性の低い者は対象外とするよう要綱を改正、②単身世帯に限られていた対象者を、夫婦が障害者であるなど、単身世帯に類する世帯も対象とするよう要綱を改正。H25年度以降、8名が老人福祉電話貸与・助成事業(高齢者支援課)へ移行し、重度障害者電話料金助成事業は3名が対象となる。	前年度までの指摘事項	安否確認や社会との関係を持つのに有効な事業	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	電話加入権が廃止になる場合、電話加入権の貸与が不可能になる。		事業全体の課題・問題点	細事業に同じ。

所管課評価					
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	安否確認や社会との関係を持つのに有効な事業	改善案

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
3事業(重度障害者電話料金等助成事業費、緊急通報体制等整備事業費及び見守り配食事業費)を統合し、事務事業名を「障害者地域支援事業」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491021	事務事業名	身体障害者相談員設置事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の身体障害者	意図(どういう状態にしたい): 身体障害者の地域活動を推進するとともに、障害のある者に対する市民の認識と理解を深める。 (相談件数 H26見込み:40件)	事業の内容 (手段)		●身体障害者福祉法第12条の3の規定に基づき、身体障害者の更生援護の相談、助言に関する業務を相談員に委託	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		相談件数 38件					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
【26年度】									直接事業費	千円	294	296	323	-
								(予算額) うち一財	千円	294	296	323	-	-
事業目標	目標名	相談件数	計算式	年間相談件数	単位	件	事業費	直接事業費	千円	285	279		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	285	279		知的障害者相談支援事業費他5事業と統合	
	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0		正職員人件費	千円	366	370			
	実績値	33.0	37.0	38.0				人工数	人	0.05	0.05	0.08		
	達成度(%)	82.5%	92.5%	95.0%				支出コスト	千円	決) 651	決見) 649			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	身体障害者相談員設置事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	直接事業費	委託	臨時嘱託				
							0.05	279	可	否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 支援区分により相談件数に偏りがある。					B	改善案	相談件数の少ない地域や、障害区分について、県内他市の状況等も参考にしながら相談員の活用方法を考える。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成23年度まで、身体障害者福祉法上、相談員の設置者は県であったため、市は県の委託を受けて実施。費用も全額県負担であった。平成24年度から法改正により、市が設置することとなった。これに合わせ、相談実績や相談支援事業所との役割分担等を考慮し従来22名で構成していた相談員を11名に削減した。	前年度までの指摘事項	研修等の実施により相談員の資質の向上を図られた。	指摘事項に対する改善状況	地域自立支援協議会の相談支援会議で研修の内容を協議した。
	細事業の課題・問題点	評価シートと同じ。		事業全体の課題・問題点	相談活動の有り方と、相談員にふさわしい人材の確保。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	身体障害者福祉法第12条の3の規定に基づき、身体障害者の更生援護の相談、助言に関する業務を相談員に委託する事業。相談員の資質向上のため不断に研修を行う必要がある。	改善案	例年開催している研修会の充実を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり 相談員の資質の向上を図りたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
事務事業名を「障害者相談支援事業費」とし、知的障害者相談支援事業費、身体障害者相談支援事業費、精神障害者地域生活支援センター設置事業費の内相談支援に係る事業費、身体障害者相談員設置事業費、知的障害者相談員設置事業費及び障害者社会参加等促進支援事業費の内ピアサポート委託料の部分を統合。また、27年度より相談支援の委託先(大和福祉会)を1カ所増やし、基幹相談支援センター(鼓ヶ浦整肢学園に委託)を設置した。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491037	事務事業名	特別障害者手当支給事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の20歳以上の在宅障害者		意図(どういう状態にしたい): 経済的負担の軽減と福祉の増進が図られる。 (受給者数H26見込み:70人)		事業の内容 (手段)	●重度の障害が2つ以上重複しており、常時特別の介護を必要とする満年齢20歳以上の在宅の障害者に対して支給(支給月:5月、8月、11月及び翌年2月)

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	支給件数 266件 支給額 20,290,080円 年度末受給者数 70人					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
							直接事業費	千円	22,059	21,908	21,840	-	-
事業目標	目標名	受給者数	計算式	年度末受給者数	単位	人	(予算額) うち一財	千円	5,515	5,477	5,460	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	18,811	20,290		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	(決算額) うち一財	千円	4,703	5,073		福祉手当支給事業費他3事業と統合	
	実績値	59.0	63.0	70.0			正職員人件費	千円	733	740			
	達成度(%)	84.3%	90.0%	100.0%			人工数	人	0.10	0.10	0.10		
							支出コスト	千円	決) 19,544	決見) 21,030			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否				
	①	特別障害者手当支給事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員 0.10 臨時等	直接事業費 20,290	委託 否	臨時嘱託 否			
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 認定について診断書の医学的な記載の理解、及び対象者の病状の把握などが困難な場合がある。					細事業評価	A	改善案				
	②												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価		改善案					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
		細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
細事業の課題・問題点	<p>障害の状態が重く(原則として、重度障害が2以上あるもの)、常時特別の介護を必要とする在宅者に対し給付を行っている。現在、支給額はH27年4月より月額26,000円から26,620円に改定された。</p> <p>障害の状況・名称も個人により異なる。数値的な医学的判断および日常生活動作(タオルを絞れるか等)、病状の安静度をもとに決定をする。病状も多種・多様なため医学的な知識が大いに求められるようになると思われる。</p>	事業全体の課題・問題点	<p>障害の状況・名称も個人により異なる。数値的な医学的判断および日常生活動作(タオルを絞れるか等)、病状の安静度などをもとに決定をする。病状も多種・多様なため医学的な知識が大いに求められるようになると思われる。</p>

所管課評価			
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由 手続等、全て法令に即した事業である。
			改善案

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
5事業(特別障害者手当支給事業費、福祉手当支給事業費、重度心身障害児福祉手当支給事業費、障害児福祉手当支給事業費及び在日外国人重度障害者福祉給付金支給事業費)を統合し、事務事業名を「特別障害者手当等支給事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491038	事務事業名	福祉手当支給事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 昭和63年3月31日現在福祉手当を受給していた者で、障害基礎年金の受給資格を有さず、又は障害程度により特別障害者手当を受給することのできない在宅者		意図(どういう状態にしたい): 経済的負担の軽減と福祉の増進が図られる。 (受給者数 H26見込み:12人)		事業の内容 (手段)	●昭和63年3月31日現在福祉手当を受給していた者で、障害基礎年金の受給資格を有さず、又は障害程度により特別障害者手当を受給することのできない在宅者に支給する経過的福祉手当(支給月:5月、8月、11月及び翌年2月)

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
	支給件数 44件		支給額 1,853,220円		年度末受給者数 10人											
事業目標	目標名	受給者数		計算式	年度末受給者数		単位	人	事業費	直接事業費	千円	2,228	2,042	1,867	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(予算額) うち一財	千円		557	511	467	-	-		
	目標値	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	直接事業費	千円		1,967	1,853		対27年度増減理由	対28年度増減理由		
	実績値	12.0	11.0	10.0			(決算額) うち一財	千円		492	463		特別障害者手当支給事業費他3事業を統合			
	達成度(%)	100.0%	91.7%	83.3%			正職員人件費	千円		733	740	0.10				
						人工数	人	0.10	0.10							
						支出コスト	千円	決) 2,700	決見) 2,593							
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	事業の分類										正職員		直接事業費		委託	
	①	福祉手当支給事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ		上記事務事業に同じ		上記事務事業に同じ		上記事務事業に同じ		0.10		1,853		否 否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 法令により位置づけられているため変更の余地なし。対象者の増加はない。								細事業評価						
	②															
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他								細事業評価							
									改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成27年4月から月額支給額が改定された。(14,140円→14,480円)	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	法令により位置づけられているため変更の余地なし。対象者の増加はない。		事業全体の課題・問題点	法令により位置づけられているため変更の余地なし。対象者の増加はない。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	手続等、全て法令に即した事業である。		改善案

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
5事業(特別障害者手当支給事業費、福祉手当支給事業費、重度心身障害児福祉手当支給事業費、障害児福祉手当支給事業費及び在日外国人重度障害者福祉給付金支給事業費)を統合し、事務事業名を「特別障害者手当等支給事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者(課長)	山本恭弘	評価責任者(部長)	大西輝政
事務事業コード	491041	事務事業名	重度心身障害者医療費助成事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の重度の心身障害者	意図(どういう状態にしたい): 社会的・経済的に弱い立場にある重度心身障害者が、自己負担なしで安心して医療が受けられることで、当該障害者の保健が向上する。 (給付件数 H26見込み:105,810件)	事業の内容(手段)	●重度心身障害者の医療費で、医療保険の自己負担分の助成 ・対象者 ア 身体障害者手帳…1級～3級 イ 療育手帳…A ウ 精神障害者保健福祉手帳…1級 エ 障害年金…1級 オ 特別児童扶養手当…1級 等		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績【26年度】	受給者数 3,635人 (平成26年度末) 給付件数 109,637件 (現物及び償還) 医療費支出額 642,116,005円						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	667,538	657,609	662,299	643,273
事業目標	目標名	給付件数	計算式	年間給付件数	単位	件	(予算額)	うち一財	千円	264,197	261,522	260,845	250,178	260,845
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	663,354	650,791			対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	104,500.0	104,800.0	105,810.0	108,588.0	108,588.0	(決算額)	うち一財	千円	256,653	249,436			H25、H26の実績及びH27の実績見込みを平均して算出し減額
	実績値	106,216.0	107,598.0	109,637.0			正職員人件費	千円	6,373	6,212		1.35		
	達成度(%)	101.6%	102.7%	103.6%			人工数	人	0.87	0.84				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	重度心身障害者医療費助成事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.84	0.20	650,791	否	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 県制度において導入された一部負担金については、他市の状況や当該障害者への影響を考慮し、市が補てんしている。さらに今後も医療技術の高度化、高齢化等により医療費の増加が予想される。					B	改善案	他市町の状況を注視しながら一部負担肩代わりを検討する。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	重度心身障害者の経済的援助として始められたが、経済的環境も悪化 する中で、障害者の経済的自立には進展があまり見られない。 医療技術の高度化により、今後も医療費は増加すると考えられる。 平成21年7月からは、県制度において一部負担金が導入されたが、引き 続き無料化を継続している。(県内で導入した市町はなし)	前年度までの指摘事項	事業の必要性は医療の進歩とともに高まっていく。一部自己負担分の 単市助成の継続は今後の課題。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	上記細事業の課題に同じ		事業全体の課題・問題点	細事業に同じ	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	福祉医療の重要性、必要性は医療の進歩とともに高まっていく。一部自己 負担分の単市助成の継続は今後の課題。	改善案	他市町の状況を注視しながら一部負担肩代わりを検討する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491046	事務事業名	知的障害者相談員設置事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の知的障害者	意図(どういう状態にしたい): 知的障害者の地域活動を推進するとともに、障害のある者に対する市民の認識と理解を深める。 (相談件数 H26見込み:4件)	事業の内容 (手段)		●知的障害者福祉法第15条の2の規定に基づき、知的障害者の更生援護の相談、助言に関する業務を相談員に委託	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	相談件数 8件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	98	98	98	-
							(予算額) うち一財	千円	98	98	98	-	-	
事業目標	目標名	相談件数	計算式	年間相談件数	単位	件	直接事業費	千円	98	98		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	98	98		身体障害者相談支援事業費他5事業と統合		
	目標値	10.0	10.0	4.0	4.0	4.0	正職員人件費	千円	366	370				
	実績値	4.0	3.0	8.0			人工数	人	0.05	0.05	0.07			
	達成度(%)	40.0%	30.0%	200.0%			支出コスト	千円	決) 464	決見) 468				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	知的障害者相談員設置事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	直接事業費	委託	臨時嘱託				
							0.05	98	可	否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 相談件数が少ない。					B	改善案	県内他市の活用状況等を参考にしながら、改善して行く。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成23年度まで、知的障害者福祉法上、相談員の設置者は県であったため、市は県の委託を受けて実施。費用も全額県負担であった。平成24年度から法改正により、市が設置することとなった。これに合わせ、相談支援事業所との役割分担等を考慮し従来7名で構成していた相談員を4名に削減した。	前年度までの指摘事項	相談員の資質の向上を図りたい。	指摘事項に対する改善状況	地域自立支援協議会の相談支援会議で研修の内容を協議した。
	細事業の課題・問題点	評価シートと同じ		事業全体の課題・問題点	相談員の活動内容の充実。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	知的障害者福祉法第15条の2の規定に基づき、知的障害者の更生援護の相談、助言に関する業務を相談員に委託する事業。相談員の資質向上のため不断に研修を行う必要がある。	改善案	例年開催している研修会の充実を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり 相談員の資質の向上を図りたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
事務事業名を「障害者相談支援事業費」とし、知的障害者相談支援事業費、身体障害者相談支援事業費、精神障害者地域生活支援センター設置事業費の内相談支援に係る事業費、身体障害者相談員設置事業費、知的障害者相談員設置事業費及び障害者社会参加等促進支援事業費の内ピアサポート委託料の部分を統合。また、27年度より相談支援の委託先(大和福祉会)を1カ所増やし、基幹相談支援センター(鼓ヶ浦整肢学園に委託)を設置した。

備考